



炉端の会  
2019.08

# 「炉端の会」のひとり言-1

◇7月7日、「民家園の七夕、飾り作りと飾りづけ体験」の様子

日本民家園では今年も折り紙などを使って七夕飾りを作り、短冊に願いを書いて大きな笹竹に飾る「七夕—飾り作りと飾りつけ体験—」が行われました。

今年の会場は旧北村家で、折り紙を使用して紙衣、あみ飾り、吹き流しなどを作りましたが、作り方が分からない方には、「炉端の会」で折り紙が得意な方がお手伝いをしました。

プラネタリウムで「七夕ものがたり」の投影が終った頃から飾りを作りに来る方が増え、願い事を書いた短冊とともに、庭に置かれた笹竹に結び付けていました。



(七夕飾りの紙衣、あみ飾り、吹き流しなど作っている)



(今年の「七夕飾りづけ」の完成です)



(出来上がった七夕飾りを大きな笹竹に飾りつけてる)





炉端の会  
2019.08

# 「炉端の会」のひとり言-2

◇「炉端の会」、火曜日の火焚き担当、「火曜班」の紹介

火曜班は

## 多士済々

「火遊び好きの男性」と「お喋り好きの女性」会員47名が趣味や経験を活かして、民家園内外で活躍しています。



チョイと見は、ありふれた小父さん、小母さんの集まりですが、永年培った技術を活かし、「尺八然とした火吹き竹」や「囲炉裏の模型」を作ったり、「折り紙」「葉細工(草バツタ)」などの裏芸を持つ達人がたくさん居ます。

また、ボランティアとして民生・児童委員、司法委員・民事調停委員、介護支援、食生活改善推進員、絵本の読み聞かせ会スタッフなどの仕事や、里山や生田緑地バラ苑の植栽管理などに汗を流す方々。草鞋を履いて箱根旧街道に挑戦したり、お魚料理が学べると知るや即参加を決めるようなアクティブな方達ばかりでなく、天文好きの人と想っていたらスバル望遠鏡の設計スタッフであったとか、ここに集う人々は驚きに満ち溢れています。

第5週の懇親会にはクーポン券を束にしてファミレスに繰り出すというお茶目な面もありますよ。火曜班の特徴は、ゆったりと穏やかで家族的な包容力を醸し出していることでしょうか。ちょっと自慢し過ぎかな？

(19期 加藤)